

シリーズ「グローバル・ジャスティス」 第4回

外国人の権利をどう考えるか？ — EU法と国の政策のはざままで

Etranger : De quel droit ? Les liens complexes entre droit européen et politique nationale

Virginie Guiraudon

フランス国立科学研究センター(CNRS)主任研究員

Directrice de recherches CNRS - Centre de
recherches administratives politiques et sociales



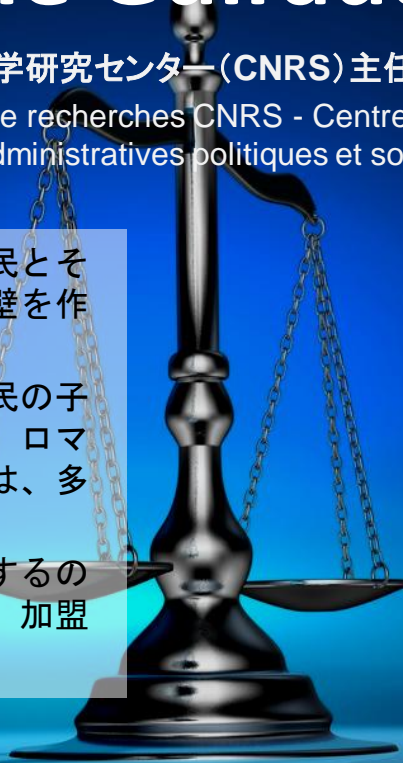
欧州連合の発足は、EU市民とその他の外国人の間に法的な壁を作り出すことになった。

EU市民でありながら、移民の子弟と同様に差別されている、ロマの人々をめぐる最近の論争は、多くの問題を提起する。

だれが決定し、だれが保護するのか。欧州機関か、あるいは、加盟国政府か？

著書

Les politiques d'immigration en Europe — Allemagne, France, Pays-bas (L'Harmattan, 2000) ;
Immigration Politics in Europe: The Politics of Control (with Gallya Lahav, Taylor and Francis, 2006) ;
Politiques publiques, vol.1 & 2 (with Olivier Borraz, Presses de Sciences Po, 2008 / 2010) ;
The Sociology of European Union (with Arian Favelle, Palgrave, 2010).



同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科では、連続セミナー「グローバル・ジャスティス」を開催いたします。このセミナーは、現代世界が直面するさまざまな課題における「ジャスティス」の問題を、講師が自らの視点で語っていくものです。したがって、どのような視角で、何を問題としてジャスティスを論じるかは講師にゆだね、主催者は一切の方向性をあらかじめ規定いたしません。ジャスティス(正義)という言葉のもつ多義性や問題性もふくめて、多様な議論の場として提供していくものです。

日時： 11月18日(木)

18:30-20:00

会場： 博遠館 212 番教室

来聴歓迎・予約不要
フランス語講演(通訳あり)

同志社大学
グローバル・スタディーズ研究科

tel. 075-251-3930

e-mail. ji-gs@mail.doshisha.ac.jp